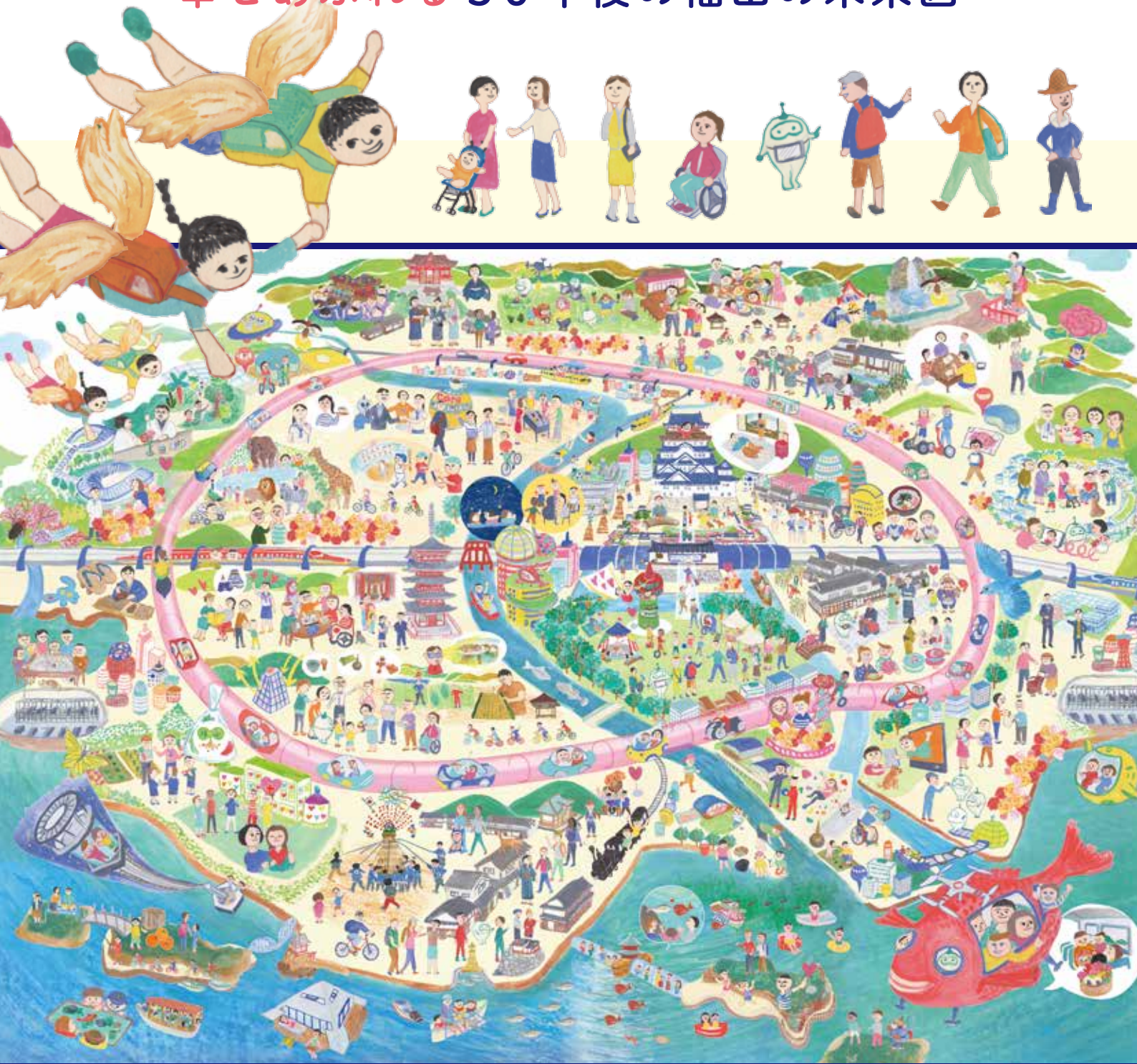


# ふくやま未来づくり | ●●人委員会

私たちが描く

幸せあふれる 30年後の福山の未来図



# ふくやま未来づくり100人委員会とは？

幅広い世代の市民が集い福山の未来づくりを  
共に考え協働する場として2017年（平成29年）2月25日から開催。

委員が自由に夢やアイデアを持ち寄り  
30年後の未来を想像しながら部会に分かれて  
議論を深め福山の未来図を描きました。

委員は公募による  
応募者 374人のうち  
抽選で100人を選考  
16～92歳の男女  
(男性50人・女性50人)

100人の委員メンバー



## 委員メンバーに聞きました！



### どんな想いで応募しましたか？

地元福山を盛り上げたい／Uターンしたくなるまちにしたい／福山駅前に活気を取り戻したい／子育てしやすいまちにしたい



### 委員会の活動を通しての感想は？

委員の様々な活動に触発された／意見を持ち寄り学び合い、「街は人間を創造する場」であると感じた／未来図を形にしていきたい



### 委員会に参加し、想いの変化は？

伝統を受け継ぐ大切さを実感／福山は変わらないといけな／大好きな福山をもっと賑やかに／街の未来を考え視野が広がった



### 30年後へのメッセージ！

未来図に近づけるよう市民や行政が共に力を合わせ良い街にしていきたい／ワクワクしながら幸せに暮らせる楽しい福山に！

## ふくやま 未来づくり 応援団

福山市出身またはゆかりがあり、各界で活躍されている方で構成され、委員会への応援メッセージや、委員会に出席してのミニ講演・助言などにより、未来づくりに多様な視点を加えていただきました。



伊藤暢人さん  
日経 BP 総研  
中小企業経営研究所  
所長



糸永直美さん  
広島テレビ  
アナウンサー



遠藤愛さん  
東京経済大学  
コミュニケーション  
学部准教授



小林克也さん  
DJ  
福山ふるさと大使



島田荘司さん  
本格ミステリー作家



寺田和正さん  
㈱サマンサタバサ  
ジャパンリミテッド  
代表取締役社長



中野裕之さん  
映画監督



ニコライ・バーグマンさん  
フラワーアーティスト  
ばらのまち福山PR大使



野田正明さん  
現代美術家



速水けんたろうさん  
歌手 俳優



平岡拓晃さん  
ロンドンオリンピック  
男子柔道 60kg 級  
銀メダリスト



藻谷浩介さん  
㈱日本総合研究所  
主席研究員



山本浩未さん  
ヘアメイクアップ  
アーティスト



福山市長  
枝廣 直幹

## 未来を共創する社会をめざして

誇りと輝きに満ちた福山市であり続ける為、市民の皆様の知恵とアイデアを出し合い 30 年後の未来図を描いてきた「ふくやま未来づくり 100 人委員会」。市内外から 374 人の皆様に応募いただき、13 人の未来づくり応援団や市民応援団から助言をいただきながら、オール福山での 1 年がかりの真剣な議論を経て、30 年後の未来図が完成しました。ここには、技術革新の恩恵を享受しながら、人口減少社会にあっても市民が誇りを持って住み続けられるしなやかな地域像が描かれています。

まちづくりの主役は市民の皆さんです。誰もが得意分野で力を発揮し、多様な連携を通じ新たな価値を生み出しながら、次世代に誇れる新たな福山の未来を共に創ってまいりましょう。

# 第1回 ふくやま未来づくり 100人委員会

と き 2017年(平成29年)2月25日(土)14:00~17:00

と ころ 福山市役所本庁舎3階大会議室

プ  
ロ  
グ  
ラ  
ム

開会  
委員名の読み上げ  
応援団のメッセージ  
旗上げアンケート  
市長、応援団コメント  
記念撮影



## 応援団からの声も聴きました!

21世紀のまちの姿を  
どう見つけていくか

本格ミステリー作家  
島田荘司さん



好きな人たち・熱い人たち  
一緒に未来を動かす!

映画監督  
中野裕之さん



福山のものづくりが  
気になります!

アナウンサー  
糸永直美さん



# 第2回 ふくやま未来づくり 100人委員会

と き 2017年(平成29年)4月23日(日)14:00~17:00

と ころ 福山市役所本庁舎3階大会議室

**プログラム**  
 オープニング  
 ふくやま未来づくり応援団講演  
 前回のふりかえり、今後の進め方  
 グループディスカッション  
 グループ発表  
 次回に向けて

今回は10代から80代まで  
世代別10組に分かれて  
ワークショップ



Step 1

## 二人一組インタビュー

得意技や応募の動機、未来の自分についてのイメージをお互いに聞き取り!



Step 2

## グループディスカッション

100人委員会で議論したいテーマについて模造紙を囲んで話し合いました!



Step 3

## グループ発表

各グループからテーマ候補を発表して全体で共有!みんなの思いの有りようを確認しました。



# 第3回 ふくやま未来づくり 100人委員会

と き 2017年(平成29年)5月14日(日)14:00～17:00

と ころ 福山市役所本庁舎3階大会議室

プ  
ロ  
グ  
ラ  
ム

希望するテーマの部会に分かれて着席  
ふくやま未来づくり応援団紹介・コメント  
前回のふりかえり  
グループディスカッション  
グループごとに発表  
応援団と市長からのコメント



**生涯現役** ～ばら色人生プロジェクト～  
一人ひとりが「できること」を最期まで  
発揮できるといいね!心と経済的豊かさ!



**若い世代が住みやすいまち**  
学生が夢を持ち、経済活動に  
チャレンジできるようにしたい!



**共生のまち**  
いろんな人が集える  
コミュニケーションの場を作ろう!



**ばらと芦田川**  
山が生きると海が生きる、海が生きると  
山が生きる!ばら、芦田川を活かす!

今回は12の  
テーマ別部会に  
分かれて  
ディスカッション!



**観光**  
もう一度来たくなる、  
住みたくなるようなアイデアを!



**安全**  
交通、防災、心、食、環境、  
いろんな視点の安全を高めよう!



**子育て**  
医療・保育の地域格差を無くして、  
子育てしやすいまちに!



**ふくやまブランド**  
福山行ったらコレだよねっという  
商品を開発し産業につなげよう!



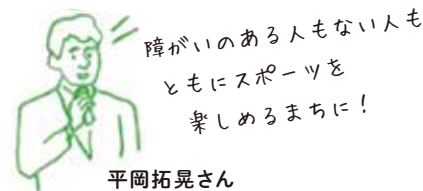
**まだまだあるぞ福山**  
まだまだいろんなことを話し合っ  
てみたいね!



**駅と福山城**  
おもてなしのシステムも整備して  
日本一の駅前に!



**LOVE福**  
郷土の学びと発信する活動が  
循環するしくみがいいね!



平岡拓晃さん



**駅前**  
わくわくする夢の30年後を考えよう!

まずはいろんな論点を  
出し合ってほしい!



枝廣市長

# 第4回 ふくやま未来づくり 100人委員会

と き 2017年(平成29年)7月16日(日)14:00~17:00

と ころ まなびの館ローズコム4階大会議室

プ	オープニング、応援団メッセージ
ロ	部会のふりかえり、発表打ち合わせ
グ	部会の発表
ラ	応援団コメント
ム	全体まとめ、その他

## 今回は各部会の 中間発表!!

### ぶち つながる 部会、じゃ!

つながりを生むコミュニ  
ケーションの場をつくろう!



### ラッキー 福のまち ブランド部会

既存のよいものをスタンプ  
ラリーできるMapや安心  
安全な食を生かそう!



### 福山は、安心安全 に暮らせる街部会

居住・食・心・交通、全てが  
安全安心に暮らせるように



### ふくやま 自然環境部会

まちじゅうにばらがあふれ  
福山の自然景観を市民が  
楽しめるまちにしていこう!



### 福の山観光部会

新たな観光拠点と巡るしく  
みでいろんな人が訪れる、  
暮らすまちに



### 地域の文化を 残すぞ!部会

地域の文化を掘り下げて  
みよう!残すべきコトは?



### LOVE福部会

30年後「福山大好き!」  
とみんなが言えるまちに!



### 生涯現役部会

正直、30年も待てません。  
今できることに挑戦してい  
こう!



### ふくやまで若者の 夢を叶えよう!部会

若者が夢を持って住める  
まち、夢にチャレンジで  
きるまちをめざそう!



### 福山の子どもは 世界の宝部会

30年後はIT活用、多世代  
交流をどんどん活発に!



### 福山駅前部会

30年後はわくわくする社会  
に!それにふさわしい駅を!



### 福山城と駅部会

築城当時の復元、城下町  
の再現でみんなが集える  
エリアに!



福山城を造った時の  
ように、多くの力を  
出しておう!

中野裕之さん



福山らしさを活かし、  
他にならぬものを  
目立たせて!

山本浩未さん



高齢者が若者に  
アドバイスする場が  
あったらいいね!

島田荘司さん



身近な問題を見つめ、  
自ら未来を  
変えていく視点で!

糸永直美さん



# 第5回 ふくやま未来づくり 100人委員会

と き 2017年(平成29年)9月23日(土)14:00~17:00

と ころ まなびの館ローズコム4階大会議室

プログラム

フィールドワーク・意見交換会の報告  
今後の進め方の説明  
未来図を描くデザイナーの紹介  
グループディスカッション  
(未来図に何を描くか話し合い)  
12部会発表  
部会マッチング  
(他の部会との話し合い希望をインタビュー)

今回は部会ごとに「30年後はきっと、こんな福山になっている!」  
というイメージを具体的にどんな「絵」にするかをイメージして話し合いました。



「絵にしたいもの・こと」「絵に込めた思い、詳しい説明など」について意見を出し合い、ワークシートに書き留めました。



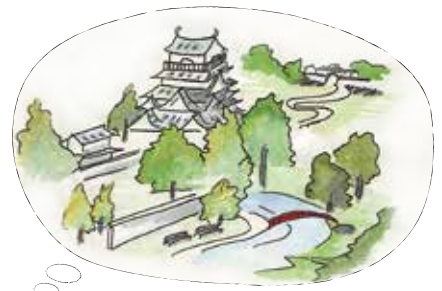
各部会から出された提案を、おおまかに福山市のカタチの上を書いていきました。デザイナーの木村さんがその場で挿絵を付け加えることによって、ぼんやりと未来図の全体像が見えてきました。



人のつながり



食文化を育てる



歴史遺産の活用

たとえば廉塾を  
学びの場に!

STEP 3

部会間で共通するテーマもいくつか見えてきました。

- **人のつながり** = 生涯現役、子育て、つながる、LOVE 福など各部会
- **食文化を育てる** = 地域の文化を残す、生涯現役、安心安全など各部会
- **歴史遺産の活用** = 観光、LOVE 福、地域の文化を残すなど各部会

これら共通テーマについて部会を超えて話し合いたいという意見が出され、次回委員会までに意見交換を行うことになりました。

委員会がとても進化した印象を持ちました。若い世代と上の世代が目線を同じくして対話ができているのもいいですね。



枝廣市長

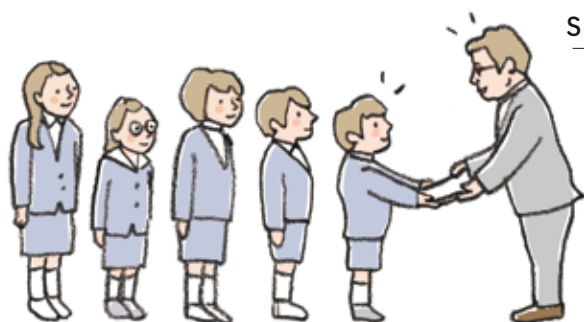


# 第6回 ふくやま未来づくり 100人委員会

と き 2017年(平成29年)12月17日(日)14:00~17:00  
と ころ まなびの館ローズコム4階大会議室

プログラム  
市長あいさつ  
未来づくり応援団の紹介、あいさつ  
小学生の未来図を表彰、写真撮影  
経過報告  
未来図案及び別冊案を見ての話し合い  
部会発表  
応援団のコメント

## 30年後の未来図の案と活動報告集の素案をもとに、 部会ごとに追加や修正の検討を行いました。



Step

1

小学生たちが描いた未来図163作品の中から選ばれた11作品に「100人委員会賞」と「未来づくり応援団賞」が贈られました。

わくわくして話を聞いたの人口減少の中、未来の福山はすごい事になっていいるだろう。

糸永直美さん



各部会ごとに未来図と活動報告集について、これまで協議していたことが反映されているか、想いの伝わる内容になっているかなどを確認しました。

Step

2



面白かった！びっくりした！なんて福山の方はファンキーなのだろう！

中野裕之さん



立派な絵が描けていると思うの。もっと未来感を強めて。ワスツと笑える要素を入れると楽しい絵になる！

伊藤暢人さん



Step

3

話し合った結果を各部会が発表。提案や修正点を全体で共有しました。

将来はAIロボットと一緒に組んで動く時代かも。未来図はよくできている。外国人をもっと多く描いてみては？

島田荘司さん



# 委員会から 飛び出した活動

Committee Launched  
Activities



## 部会の開催

テーマごとに12の部会に分かれ、意見交換会や勉強会が行われました。共通するテーマについては部会を超えて話し合いました。

### 子育てに関する意見交換会



地域ぐるみの子育てや医療費助成について



身近な子育て相談の場「ネウポラ」について



自治会・子ども会加入率100%の高美台



子どもの貧困について

### 合同の部会

世代を超えてつながる共助社会とは？  
生涯現役 × 若者 × つながる × 子育て



地域資源を活かした30年後の観光は？  
観光 × 地域の文化 × 駅前 × 福山城



何をどこで学び知識をどう生かすか？  
LOVE福 × 生涯現役 × 子育て × 地域の文化



## フィールドワーク

「30年後の福山」を考える上でキーポイントになる場所や活動を3つのコースに分かれて巡りました。



### 観光を考えるコース

8月27日(日) 10:00~16:00 《委員16人参加》

神辺本陣、廉塾、吉備津神社、明王院  
／ 鞆の浦など歴史・文化の価値探訪



### コミュニティーコース

9月9日(土) 10:00~15:00 《委員16人参加》

地域自主運営のお店クローバー  
／ ふれあいサロン活動等の支え合い



### 駅前コース

9月10日(日) 10:00~15:00 《委員17人参加》

リムふくやま-外堀-福山城-築切など  
／ 福山駅前の歴史的価値を知る



## 小学生が描く未来図の募集

次代を担う小学生の夢やアイデアを未来図の参考にするため、市内の小学生から「30年後の福山の未来図」を募集しました。夢や希望にあふれた163作品が寄せられました。



未来図にも出てくるよ！  
探してみてね！



『100人委員会賞』  
春日小学校3年 向井一颯さん

## 中学校の未来づくり授業参観・意見交換

日にち：11月17日（金）  
場所：福山市立城北中学校

城北中学校3年生が「総合的な学習の時間」に取り組んだ「未来のふくやま」についてのグループ発表を100人委員会の委員が授業参観し、中学生と意見交換しました。福山城のスケルトンブリッジなどの模型や紙芝居なども使いながら、未来の街の姿が24グループから発表され、「実現に向けてできることから始めていきたい」との力強い意見もありました。



## 市民応援団意見交換会

日にち：11月23日（木・祝）  
参加者：61人

委員以外の幅広い意見を聴き、オール福山の未来図とするため、委員に応募いただきながら抽選により委員になっていただくことができなかった市民応援団のみなさんを対象に開催しました。委員会で話し合っている12のテーマに分かれて意見交換し、国際化の進展や滞在型の自然環境観光など、いただいた全ての意見を100人委員会の話し合いの参考にしました。



## 委員会を傍聴いただいた方の意見（一部抜粋）

他にもメールやフェイスブックなどで  
たくさんのご意見をいただきました。

住民が多様性を認め合い、優しさを持っている福山に



暮らしにアートとデザインを取り入れたまちに



玄関らしい駅と城周辺が一体となった整備を



自然を身近に感じられる街並みに



# 「福の山観光部会」

もう一度来たくなる！  
ここに住みたくなる！



Group Member \* = 世話人

- 赤木 博典 實井 佑華 平本 成美\*  
 稲田 慎之介 鈴木 裕三 森 光裕  
 工藤 鈴枝 能宗 隆 森田 高平  
 栗原 基江 濱畑 りの

## この部会がめざす未来

### 「観光から移住・定住へ」

福山は海、山、川などの自然のみならず、未来に伝えたい歴史的財産に恵まれている。この財産を生かし、未来の最新技術や乗り物を駆使した新たな観光スタイルを提案したい。国内外から福山を訪れた方々が、もう一度来たい・暮らしたいという気持ちになるような拠点整備と、市民ぐるみのおもてなしを構築したい。

## 具体的なイメージ

### 「新たな価値観で世界に通用する観光地に」

福山城・廉塾・神辺本陣・吉備津神社・明王院・街道・辻堂・鞆の浦・伝統工芸など、福山に伝わってきた宝が最新の技術も活用し活かされている。ガイド技術も向上し、世界に誇れるおもてなしができる福山になっている。海外富裕層にも満足してもらえるレベルの宿泊施設、徒歩・自転車・バス・ドローンタクシーなど選択肢が豊富な移動手段、春夏秋冬季節ごとの魅力あるメニューが開発され、いろんな人が訪れるまち、暮らすまちになっている。

## 古いは新しい。 歴史的資産を未来に残す

明王院内部の建築構造や芦田川の川底に沈んだ草戸千軒の中世の街並みを、ホログラムやVRを活用して、そこにあるかのように見ることができ。



B-2\*

## ゆっくりのんびり 人がつながる サイクリングルート

鞆の浦世界遺産コースなどを、辻堂で休憩しながら巡り、古き良き歴史文化をまるごと体験できる。



B-3~4

## 海と山のリゾートエリア

海から鞆を眺めるクルーズツアー、山では本格アウトドアメニューの充実等、インバウンドも視野に入れたハイクラスなリゾート地として整備されている。



D-1

B-4

## ばらのまちづくり

ばら花壇やばらづくりを通して育んだ「ローズマインド」と呼ばれる「思いやり・優しさ・助け合いの心」で世界中の人をもてなしている。



B-1、C-1



# 「ぶち、つながる部会じゃ！」

一人ひとりに  
居場所があるまち！

## この部会がめざす未来

### 「市民ファースト、幸せを実感できるまちに」

地域差や国籍の違いや生活背景に関わらず、子ども・若者から高齢者まで年齢を問わず、障がいのあるなしに関わらず、あらゆる人がコミュニケーションできる場を作り、特別に配慮しなくても誰でも自然に受け入れられる社会。そのためにはコミュニケーションのきっかけとなる環境が必要。ハードルの低い出会いの場、集いの場、共感を深め合う場、行動が生まれる場、そして誰でもスポーツできる場などがソフト・ハード両面で整備されている。

## 具体的なイメージ

### 「コミュニケーションの場をつくる」

枠を超えてつながっていくきっかけについて検討する中で、まずは「モデル」づくりが必要と考える。持続可能とするために「ちよつとの経済を生む仕組み」も必要。実現においては個人・NPOなど市民レベルでの連携のほか、民間企業や行政との協働が不可欠。



Group Member \* = 世話人

岡登 裕美 熊谷 和子 宮城 和史  
梶原 敏道\* 高野 憲治 山本 睦枝  
客本 牧子 友滝 将大

## 福山市民助け合いポイント (ボランティア貯金)

地域の草刈りをして貯めたポイントでベビーシッターをお願いできるなど、助け合いの連鎖が生まれる共助社会になっている。



D-3

## テレビが新たな コミュニケーション ツールに

ホログラムやVR(バーチャルリアリティ)の技術により、家庭のテレビで回覧板を見ることができたり、子育て相談など家に居ながら様々な相談ができる。



D-3

## みんなが楽しめる 福山発全世代スポーツ

福山で誰もが楽しめる新型スポーツ(全世代の力を発揮でき、みんなの力を合わせないと勝てないスポーツ)が生まれている。身近な場所でスポーツを通じてつながりが生まれる場ができている。



C-3



# 「福のまちブランド部会」

日本一縁起のいいまちから  
ラッキーをおすそわけ！



Group Member \* =世話人

伊垣 元晴 鳥飼 慎介 平谷 佳子  
岡本 匡裕 中尾 圭 藤井 美保  
谷本 龍馬 西川 暁史 宮地 信樹\*  
土井 拓弥

## この部会がめざす未来

### 「皆が誇れる、福が山のようにあふれるまち」

合併を繰り返して来たからこそ、海辺から山間部に至るまで豊かな文化に恵まれた福山。ブランドを一つに決めるのではなく、お互いの地域を尊重し、地域同士がつながり、まちがひとつになる。パワースポットや観光資源を有効活用したまち。

## 具体的なイメージ

### 「ラッキーのおすそわけ」

琴、下駄、鯛、くわい、ばら、企業など、日本を代表する一番が集まるまち。災害も少なく、気候も温暖。福山が「福の山＝ラッキーのまち」として有名になっている。ラッキー情報発信基地「福山タワー」から幸福になれる情報が全国に発信され、全国からも情報が集まっている。幸せに暮らしている福山市民こそがブランドである。

## 良いものスタンプラリー

パワースポットなど縁起の良いもの・コトを巡るスタンプラリーで「ラッキーのまち」を体感！ハートの電波で全国に発信している。



C-2、D-1~2

## ラッキー玉手箱マカロン

鳥居の絵などパワースポットを描いたマカロンが、「福」をおすそ分けする福山土産として人気を博している。



D-2

## 福の山ラッキーキャラが大人気

花の女王「ばら」、魚の王様「鯛」、おせちの「くわい」といった、福山産のラッキーで一番な物を満載したキャラクターが縁起物となる。



D-2



# 「LOVE 福部会」

福山を愛し、  
一人ひとりが光り輝くまち！



Group Member \* =世話人

宇田 貴美\* 坂上 琴 三谷 道昭  
大岩 智之 廣田 美三子 脇坂 雄三  
神谷 和孝 船井 木奈美

## この部会がめざす未来

### 「地域への愛=LOVEが高まる福山」

学びによって誇りが醸成されている福山のまちが大好きな人が暮らしている。市民誰もが街の魅力を語れるようになり、社会の役に立てるよう、自分に何ができるか考え行動に移している。

## 具体的なイメージ

### 「つなぐ→学ぶ→感動する→気づく→感謝する→行動する」

老若男女誰もが上質な情報に出会い、互いに教え合い学びを高めている。世代を超えて文化力をつないでいる。そして、知らなかったことに出会い、先人の思いに感動し、このまちの価値に気づく。自分を育んでくれたまちに感謝の気持ちが生まれ、育んだ郷土愛が地域のために何か動きたいというエネルギーにつながっている。

## 人材バンク キーステーション

福山コンシェルジュ機能「よるず相談所」をもち、個人のスキル、地域のスペシャリストを地域全体で共有、さまざまな知恵が集積し活かされる仕組みが整備され利用されている。  
(関連 P.19 生涯現役部会：全員参加型キーステーション)



B-3

## ふくやま まなびテラス

歴史・文化などについて、幅広い世代がお互いに教え合い学び合う場が市内各所に整備されている。



A-2

## いま廉塾

江戸時代の私塾「廉塾」の学びのスタイルが未来にも生きている。  
(関連 P.22 地域の文化を残すぞ！部会：甦る廉塾、未来の学び舎に！)



B-2



# 「福山駅前部会」

コミュニケーションのプラットフォーム、  
日本文化の玄関口福山駅



Group Member \* =世話人

- 池田 修 信原 ともみ 細戸 昌史  
上野 絵里奈 延岡 英憲\* 松浦 裕子  
下江 正宏 藤井 和彦 水ノ上 貴史  
檜崎 典子

## この部会がめざす未来

### 「みんなが集まる、楽しく緑あふれるまち」

30年後はハイテクが進んでワクワクする社会になっているが、ローテクな豊かさも併せ持つ。それにふさわしい駅前になっている。

## 具体的なイメージ

### 「ハイテクだけど城下町のような未来都市」

30年後の福山は300年前の「城下町」としての姿を取り戻し活気溢れる街になっています！情緒溢れる「城下町」として国内外から観光客が訪れる駅前は一見レトロな町並みでありながら、中はハイテクノロジーが生かされて楽しく快適♪

## ハイテク城下町

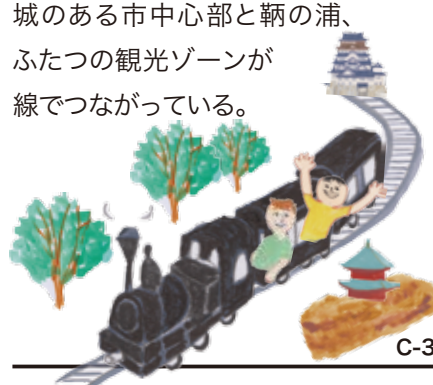
商店街が江戸時代に匹敵する情緒ある城下町の風情に生まれ変わっている。（関連 P.16 福山城と駅部会：城下町を再現）



C-2、D-2

## 懐かしの鞆鉄、ラッキョ自動車復活

城のある市中心部と鞆の浦、ふたつの観光ゾーンが線でつながっている。



C-3



## 入江の復元

駅前までつながった入江に船が行き交い、新たな観光ルートが生まれている。



C-2

## 緑あふれる人々が集う、森の様な公園

福山駅前には人々が集う森のような緑あふれる公園があり、市民の憩いの場となり様々なイベントが開催され老若男女たくさんの人で連日賑わっている。



C-2~3



# 「福山城と駅部会」

400年前のまちを30年後の未来に  
みんなが集える賑わいエリア



この部会がめざす未来

## 「400年の歴史が息づくまち」

築城当時の工法で復元された福山城を核にして、歴史を肌で感じられるまちになっている。駅周辺が文化ゾーンとして整備され賑わいが創出されている。



具体的なイメージ

## 「駅と繋がる城」

改札と城を繋げて一体化、利便性が高まり訪れやすくなっている。駅自体も城の風情にマッチしたデザインで、天守閣から眺める景観の質が向上している。日本情緒が味わえる宿泊施設（富裕層向け、昔の大名の旅籠のような）が整備されていて人気となっている。

Group Member \* =世話人

- 小迫 富子 檀上 敏子 吉岡 勝博\*  
田邊 敏 檀上 幸久 吉田 直樹  
丹下 工 宮本 泰昭

## 街を一望できる 天守閣ホテル

お城に泊まり、400年前の歴史を  
肌で感じられる宿泊施設！



C-1

## 昼夜賑わう福山城

コンサートや園遊会など、昼も夜も  
イベントが開催され賑わっている。



C-2

## 城下町を再現

景観条例で町並みを整え、古民家  
を移設するなどして城下町の風情と  
文化を取り戻している。(関連 P.15  
福山駅前部会：ハイテク城下町)



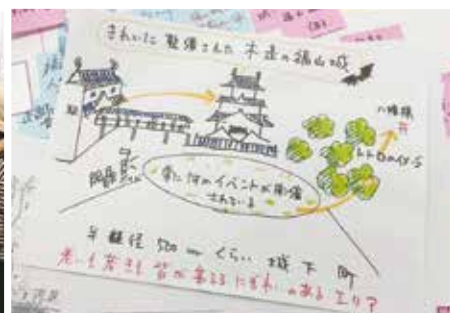
C-2、D-2

## 福山城とつながる 福山城駅

福山駅も「城の一部」となるような  
建物にし、駅と城が回廊でつながっ  
ている。駅名は「福山城駅」に変更！



C-2



# 「福山の子どもは世界の宝部会」

子どもの育ちを  
みんなで支え合う地域社会に！



Group Member \* =世話人

岡田 佳美 筒井 良子\* 平尾 充  
神谷 さとみ 畑田 夢 三原 直美  
佐藤 友望 原 千代里 山下 美岬  
玉野 元美

## この部会がめざす未来

### 「子どもの命が当たり前で尊ばれる地域社会」

貧困や障がい、病児保育の問題など、子どもを取り巻くあらゆる憂慮すべきことが解決し、すべての子どもが豊かな教育を受け、地域に愛されて育っている。

## 具体的なイメージ

### 「一人の子どもをみんなで支え合う」

子育てに関するあらゆるジャンルのスペシャリストのネットワークが整っている。どんな不安や相談にも連携して支援できるような仕組みが整っている。いつでも誰かが見守り、寄り添い、子どもを一人ぼっちにしないまち。ITも活用し困った時にはいつでも相談できる仕組みがある。

## 子どもを支える体制づくり

子どもを、そして市民を「一人にしない」街になり、相談しやすい場所が充実している。教育現場と地域との連携が図られ、子どもの貧困対策も万全になっている。



D-1~2

## 子どもの健やかな成長

音楽で子どもにも大人にも明るい未来と幸せが運ばれ、障がいや病気がある子どももない子どもも共に育ち学べる教育が行われている。



B-2

## 子育てしやすい 仕組みづくり

専門家が増えて、特別支援を必要とする子どもや家庭が支援を受けやすくなっている。病児保育事業も充実し、仕事と家庭の両立は当たり前。IT・広報の工夫で子育て情報がやり取りしやすくなり、子どもの医療費負担は少なくなっている。



D-2



# 「福山で若者の夢を叶えよう部会」

若い世代が夢を叶えられるまち！  
夢へのチャレンジ&サポート



この部会がめざす未来

「夢の実現のためにチャレンジすることができるまち」

若者がさまざまな活動にチャレンジ!機会を提供してくれる大人たちや企業が若者の夢を本気でサポートしている。



具体的なイメージ

「夢を見つける、支える、育てる、広げる」

大人たちや企業と若者とのマッチングが行えるしくみが生まれ、若者主体で活動が活発に行われている。若者の夢を実現させるためのチャレンジや実践できる場があるまち。

Group Member \* =世話人

有重 遼 貝原 大和 松川 英之  
井上 莉緒 楠 明憲 吉田 絢香\*  
大田 優希 島田 直浩

## 夢ネットワーク

市、県、国、星という場所に捉われることなく、全宇宙レベルのネットワークの紹介や支援を受けることができる環境。



B-1

## ゆめかな 夢叶ボタン

ボタン一つでチャレンジしたいことや体験してみたい夢を疑似体験できるシステム。



B-2

## 夢Cafe&Bar

地域と若者が会える場所として、Cafe&Barを大人たちや企業と若者が一緒に運営している。



B-1



# 「生涯現役部会」

世代・国籍・地域を越えてつながり  
夢を持ち続けられる



Group Member \* =世話人

石井 登久子 藤井 隆 森田 豊子  
生関 くみ\* 森迫 清之 吉岡 昌子  
辰川 和美

この部会がめざす未来

## 「ばら色人生、輝く命」

経験から得た知識や知恵を若者に伝え、一人ひとりができることを生涯発揮できるまち。心と経済的豊かさ両面が得られるまち。

具体的なイメージ

## 「夢を語り、夢を持ち実現する」

生涯現役をめざすために、多世代が広く繋がり、互いに夢を語り合うことで生きがいを見つけていく。夢の実現に向けて、より多くの人が協働することで、いきいきとした人生となる。またボランティアだけではなく、多様な働き方ができるしくみをつくることにより、個人も社会も豊かになる。

ポイント① みんなが集まって夢を語り、交流を深める場所がある

ポイント② 知識や知恵、技術などを登録し、それを生かして働く場所がある

ポイント③ 働きながら文化の継承を行ない、一人ひとりの夢を実現

## 世代・国籍を越えて みんなが集まる 「地域の食堂」

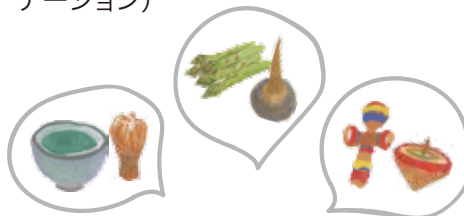
みんなで食をともにし、食を通して交流を深めつつ、福山の文化・技術・知恵を伝えている。



C-1

## 全員参加型 キーステーション

年齢に関係なく、文化継承につながる経験や知識、知恵＝「私はこれに詳しい！」や得意な技術＝「私はこれができる！」を登録、発信し、社会参加ができる。多様な人材の働く場へとつながっている。(関連 P.14 LOVE福部会：人材バンクキーステーション)



B-3

## 伝える農業

育てる・収穫する・食べるなど経験を重ねた人々の知恵が、農業をやりたい若者や子どもへと伝えられている。中山間地の田畑の後継者不足が解消され、耕作放棄地がなくなっているとともに、新しい農業になっている。



B-1、C-1



# 「ふくやま自然環境部会」

里山があり、里川があり、里海がある。自然資産がたくさんの中核市～世界に誇れる瀬戸内海国立公園内にある逢潮の街！



## この部会がめざす未来

### 「福山ブランドの自然環境の確立」

福山ならではの自然財産（山野峡～芦田川～鞆の浦～内海町）が世界ジオパークに認定され、自然や動植物の保全や再生の研究が総合大学（市内の大学を統合）により行われている。



## 具体的なイメージ

### 「福山の自然を世界にアピール」

ばらと草花の自然公園を中心に道路沿いに無農薬・有機栽培のばらを植えて線で繋ぎ、ばらのまちの質が向上している。芦田川は汽水域が復活し多様な生き物が生息、沢山の人が集っている。高度な水質保全策で美しい海が保たれ、豊穰な瀬戸内の恵みが楽しめている。

Group Member \* = 世話人

井上 美知子 佐藤 陽子 法堂 一成\*  
浦田 八重子 菅尾 吾子 町本 義孝  
坂本 優子

## ばら専門研究機関を福山市立大学「ばら学部」として増設

ばらの原種など無農薬・有機栽培の植物・生物を研究し、次世代に引き継いでいる。「ばらと草花の自然公園」「福山サファリパーク」も併設、市民や観光客の来場で賑わっている。



A-1～2

## 芦田川両岸が親水自然公園に

絶滅危惧種の魚類や水鳥、昆虫などが生息する豊かな自然環境の中で、釣りや水遊びやホタル観賞など市民が楽しんでいる。そしてサイクリング・ウォーキングなどのスポーツも楽しめる川岸になっている。



B-1、C-1、C-3

## 干潟・汽水域・藻場の復活！

河口堰を潮止堰として上流へ移設し、干潟・藻場の再生を行い、潮干狩りを楽しむなど河口周辺で人々が遊んでいる。水質浄化の先端事例として世界中から注目を集める。



C-3～4

## 逢潮の海が世界ジオパークに認定！

鞆の浦沖から宇治島にかけ瀬戸内の東西の潮が出逢う世界でも珍しい潮流に注目、日本一長い水中トンネル水族館で多様な生物と関わりながら遊び、体験学習ができるエリアが整備されている。



C-4



# 「福山は安心安全に暮らせる街部会」

まちも食べ物も心も交通も、  
安心安全な暮らしが守られているまち



Group Member \* =世話人

今川 能通 佐藤 千代子\* 中山 純子  
木村 里子 佐藤 義則 峯松 浩道  
坂本 牧子

## この部会がめざす未来

### 「防災、食、心、交通の安全」

それぞれの視点で安全基準が高まっているまち。

## 具体的なイメージ

【防 災】 命が守られる空間の整備が進んでいる

【食】 生産段階から最終的には廃棄に至るまで、食のプロセスに関わる人々の気持ちまでわかるトレーサビリティ（※）が確立されている。

【心】 「心」の検診により、孤立と無縁の自助・共助社会に

【交通安全】 交通インフラは大きく変化し、環状道路ができていて渋滞がないまち。未来型全自動カーやセグウェイなどで移動もスムーズで安全。ドローンの拠点を各地に設け、空を飛んで自由に目的地へ！

（※）トレーサビリティ：食品の流通経路を把握できること

## 防災カプセルシェルター

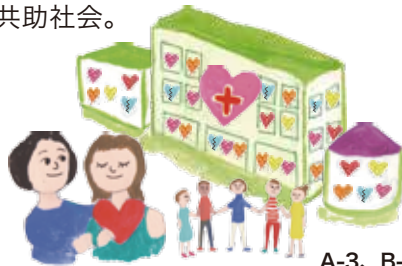
災害があっても守られる家屋・住居・宇宙空間が備わっている。



A-3

## 孤立という言葉のない社会

すべての人が「心」の検診を受けられ、助け合いが当たり前になる自助・共助社会。



A-3、B-3

## 安全で自由に移動できるまち

ドローンタクシーや「羽のついたランドセル（小学生が描いた未来図より）」、自動運転の乗り物などをつかって、安全に移動できるまち。



B-3、D-3

## 見える食の生産現場

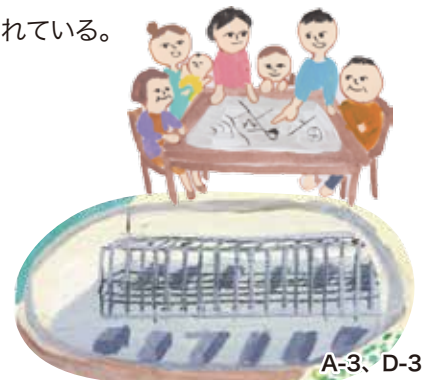
高い基準の安心野菜が作られているところを、みんなが見に行くことができ、その場で食べることができる。



A-3

## 地震に強いまち

地下の免震装置により安全が確保されている。



A-3、D-3

# 「地域の文化を残すぞ！部会」



まだまだあるぞ

青い鳥はすぐ近くに！  
地域の文化こそ豊かな宝。



## この部会がめざす未来

### 「豊かな文化が香るまち」

地域の文化があってこそ、コミュニティは育まれる。過去から「授かった」大切な地域資源を宝物として、未来へと引き継ぎ伝えていく。30年後にも福山ならではの歴史・ものづくりなどの豊かな伝統文化が受け継がれ、常に新しい交流が生まれるなど若い世代にとって「戻ってきたい街」になっている。



## 具体的なイメージ

### 「文化を残す、文化を伝える」

福山のことを深く知る『学び』が、福山を良くするための『活動』のきっかけとなる。それは福山の暮らし・食・祭りなど地域独自の文化を丁寧に掘り起こし、掘り下げる活動から始める。活動のきっかけを生み出す塾もあちこちに開設され、福山市民のみならず海外からも日本らしい文化の拠点に学びにやってくる。

Group Member \*=世話人

井上 留美\* 佐藤 大地 西田 さゆり  
大本 誠一 世良 晋作 林内 亜実

## 地域の祭りや文化を残す

市内各所に伝わる祭り（けんか神輿、とんど祭りなど）を未来につなげる取組が活発に行われている。



B-1

## 地域の食文化を残す

郷土料理（うずみなど）を子どもたち・次世代に伝える取組を行っている。



D-2

## 伝統産業の継承

備後緋、畳表、下駄を日常の暮らしに生かしながら継承し、発展させている。



B-1、A-2、B-3

## 甦る廉塾、 未来の学び舎に！

次世代や外国人が福山の地域文化を知る塾。菅茶山の私塾「廉塾」が市内各所に甦り、誰もが気軽に福山の歴史や伝統文化を学び、体験し、まちへの誇りを醸成している。夢を持ち未来志向でチャレンジする市民性を育む場にもなっている。（関連 P.14 LOVE福部会：いま廉塾）



D-1



# ふくやま未来づくり宣言

わたしたちのふるさと福山は、  
2016年（平成28年）に市制施行100周年を迎えました。  
ふくやま未来づくり100人委員会は、次の100年に向けた希望を胸に、  
30年後の理想の福山の姿について議論を重ね、  
フィールドワークを行い、未来図を描いてきました。  
30年後の福山は、技術革新が進みハイテクノロジーの恩恵を受けながら、  
大人が若者の夢を応援しています。  
社会全体で子どもたちを育み、歴史や文化、自然を大切に守り、  
日々の暮らしに感動、感謝しながら、まちの個性をブランドに高めています。  
人々の知恵や経験は社会に生かされ、  
すべての人が助け合い、健康で安全な暮らしを営んでいます。  
世界中から福山を大好きな人が集い、笑顔で支え合う豊かなコミュニティがある、  
幸せが実感できるまち。それが「未来の福山」です。  
一人ひとりができることから始め、オール福山で力を出し合いながら、  
人が輝き、夢をはぐくむ未来の福山に向かって歩みを進めていきましょう。

2018年（平成30年）2月12日  
ふくやま未来づくり100人委員会委員一同



## ふくやま未来づくり100人委員会 の活動記録

発行日：2018年（平成30年）2月

発行者：福山市100人委員会事務局（福山市役所まちづくり総務課内）

〒720-8501 福山市東桜町3番5号 電話：(084)928-1217

ホームページ：<http://www.fukuyamamirai100.jp/>